

Toilet Topics



SCビジネスフェア2015 プレゼンテーションセミナー トイレで女性の心をつかむ! 『女性目線で診断するSCTトイレの維持管理』

1月下旬、ショッピングセンター業界最大の展示会であるSCビジネスフェアが開催されました。このセミナーにて、1級トイレ診断士(厚生労働省認定 社内検定)の小林明美が女性目線からのトイレ維持管理についてお話をいただきました。

ショッピングセンター(SC)で働く従業員の8割は女性で、来店されるお客様の8割も女性です。そう考えると女性目線でトイレを見ることが大切です。顧客満足度、従業員満足度を高める為の「重要なツール」として、トイレは日々進化しています。「汚い」「くさい」「暗い」「怖い」「4Kトイレ」は少なくなり、「きれい」「快適」「感動」「心遣い」を感じる「魅せるトイレ」が増えています。ここで重要なのが、**男性よりも女性の方が、トイレを見る目が圧倒的に厳しい**ということです。それはなぜなのでしょう?
女性はトイレでの滞在時間が長いトイレ1回当たりの滞在時間は男

性が平均31秒、女性は3倍の97秒。回数は、男性が1日に5.5回、女性は7.2回と言われています。また、お化粧や身だしなみの為だけに商業施設のトイレを利用される方は、女性では半数以上にも上ります(リクシル「商業施設のトイレに関する意識調査2010」)。
女性は男性よりもニオイを感じやすいまた、リクシルの別のインターネット調査によれば、「トイレのニオイに一人倍敏感だ」と感じる女性は男性より20%も上回ります。ニオイの原因物質は便器や床など低い位置にあるため、座って用を足す女性は鼻の位置が汚れに近く、ニオイを感じ

やすいのです。さらに、**女性は小さなことから全体像をイメージする生き物**です。例えば、飲食店でトイレが汚れていたとすれば、「厨房も…」とイメージを広げ、その店を避ける行動を継続させます。女性は子どもを産み、育てる性。自分と子どもの身を守るために、自分に危害を与えた相手を忘れず、嫌な記憶を脳に留めておく性質があるのです。女性は不快な思いを脳で処理し、感情を言語化して長期保存します。それに対し男性は感情を脳の中心の短期記憶を司る扁桃体で処理し、すぐ忘れます。でも、ご安心ください。女性はいい感情も脳に溜めて重ねて記憶します。女性のお客様の心をつかめば、ファンになり、口コミを続けてくれる、強い味方になってくれるのです。きれいで快適なトイレ空間であれば、女性のお客様も安心してお買い物を楽しめます。**トイレでお客様を感動させることが、リピーターに繋がる**のです。



motto!グッドトイレ ~グッドトイレ選奨2014から~

お出かけ先の安心感 & みんなにうれしい「まちかどトイレ」

「外出先で気軽に入れるトイレを!」そんな思いで長崎の市民グループが始めたのが、店舗のトイレを「まちかどトイレ」に認定し、トイレだけでも利用してもらう活動。長崎市内のレストラン「きっちんせいじ」さんでは、「トイレはおもてなしの基本」というオーナーが趣旨に賛同、補助金による便器の洋式化への改装を経て、第1号の「まちかどトイレ」に認定されました。トイレ内には募金箱が設置され、収益はトイレトッパーの購入など、まちかどトイレの維持管理に生かされています。毎月20名ほど

トイレのみの利用があるという「きっちんせいじ」さんですが、今までそのために不快な思いをしたことは無いとのこと。逆にテレビや新聞の取材を受けたり、街歩きマップに掲載されたりと宣伝にもなっているそうです。今ではまちかどトイレも3ヶ所に増え、市民のお出かけや観光客のおもてなしに一役買っています。さらにこの取り組みは街の賑わいを振興する長崎市の「まちぶらプロジェクト」の第2号としても認定され、今後も広がっていく予定です。

「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会

まちかどトイレ第一号に認定された「きっちんせいじ」さん。入り口には6ヶ国語で表示された案内板も。
トイレを借りる方も感謝の気持ちで使い、貸すほうも地域貢献ができる。そんなみんなにうれしいトイレになっているのいいですね。

今回「和光市駅前トイレ診断士の厠堂」がオープンしましたが、新横浜の厠堂は先日、契約更新に伴うリフレッシュ作業が行われました。新横浜駅前にはバスターミナルもあり、交通や人の流れが多い所。日頃細かにメンテナンスしていても、この3年の間に排ガスなどで汚れが溜まり始めていました。また、作業中にもトイレを利用する人がひっきりなしで、公衆トイレの維持管理の難しさを感じました。(セルベッチオ中嶋)

Information!
「トイレ診断士」によるブログをご存知ですか。全国のトイレ診断士が、トイレを通して思うこと、感じることを、診断の実情などを赤裸々に語っています。お気軽に覗いてみてください。
「トイレ診断士達のブログ」と検索してください。
<http://www.toireshindan.com/>

あなたの町のアメニティネットワーク
アメニティ本部フリーダイヤル 0120-57-1110

トイレを楽しくする新聞
かわや版
KAWAYABAN
2015 春号 Vol.54

特集 新たなトイレ先進都市の誕生 公衆トイレのネーミングライツ第4弾 和光市駅前トイレ診断士の厠堂オープン

埼玉県和光市の玄関口である東武東上線和光市駅。この南口の公衆トイレが「和光市駅前トイレ診断士の厠堂」として新しく生まれ変わりました。これは、アメニティネットワークのフランチャイズであるCSアメニティ(CSリレーションズ株式会社)が、和光市と公衆トイレのネーミングライツ(命名権)契約を行ったものです。アメニティネットワークが手がけるトイレのネーミングライツは、渋谷、新横浜、京都に続き、第4弾となります。1998年に設置されたこの公衆トイレは老朽化が進み、臭いに対する苦情や便器の洋式化を求め

る声が多かった洋式便器にリニューアル。木目調のパーテーションで明るく。ベビーベッド設置で赤ちゃん連れも安心。もちろんアメニティ製品も設置。和光市にお越しの際には是非お立ち寄りください!



和光市役所企画部政策課 前島 祐三課長補佐
「リフレッシュ作業でトイレのにおいが無くなって本当によかったです。快適なトイレを維持していくという点でこれから本当のスタートだと思いますので、アメニティネットワークの専門性と技術力に期待しています」

▲木目調のパーテーションで明るく
▲ベビーベッド設置で赤ちゃん連れも安心
▲要望が多かった洋式便器にリニューアル
▲もちろんアメニティ製品も設置

各地の「トイレ診断士の厠堂」をご紹介します

渋谷 2009年2月オープン 区役所前トイレ診断士の厠堂 「トイレ診断士の厠堂」記念すべき第一弾。全国初のトイレのネーミングライツで注目を集めました。 東京都渋谷区 神南1丁目5-11 ●渋谷駅から徒歩約10分	新横浜 2011年11月オープン 新横浜駅前トイレ診断士の厠堂 命名権料は0円。代わりにトイレの快適性向上と維持管理の役務を負担する「地域貢献方ネーミングライツ」の先駆け。 神奈川県横浜市港北区新横浜2-1 ●新横浜駅北口出ですぐ	京都 2013年7月オープン 京都東山トイレ診断士の厠堂 京都市内の加盟店(株)アメニティコスモス・(株)スマイル・(有)レグリスの3社による共同契約。 京都市東山区下河原町526番地1 高台寺公園内 ●祇園四条駅から徒歩約15分
---	---	---

文献に学ぶ「トイレ文化」



このコーナーでは、「トイレ文化」に注目し、トイレに関する興味深い文献をご紹介します。

第14回 トイレの民俗学

かわや がみ 廁 神

「トイレの神様」という楽曲もあり、なにかと注目を集める「廁神」。今回は日本トイレ協会名誉会長でいらっしゃった故・西岡秀雄先生の「トイレトペーパーの文化誌」の中からこの「廁神」について人文地理学の視点で紐解いてみたいと思います。

日本

《廁神の呼び名》

日本では廁神のことを便所神、手水神、閑所神、せんち神、おへや神(栃木県)、雪隠さん(広島県三津町)、廁鬼などともいう。

神道のほうでは廁の守護神について、ト部神道が、埴山毘売命、水波能売命の二神であるという。(平田篤胤「玉だすき」による)

仏教のほうでは烏菟沙摩明王が、廁の守護神に当てられている。ウスサマというのはサンスクリット語の「Uc:chuṣma」の音写で、元来はアグニ神という火の神であったのが密教にとり入れられてから明王の名となり、お姿も忿怒の相を現わし火焰を装おい、不浄を転じて清浄にする徳を有することから、便所に祭られるようになった。

伊豆天城湯ヶ島町市山の金龜山明徳寺で配付されている東司守護としてのお札は、烏菟沙摩大明王となって、烏菟が烏瑟となっている。これは平家物語(巻五)にも「金銅十六丈の瀧舎那仏、烏瑟高く頸ほれて半天の雲にかくれ…」などと出てくるサンスクリット語で「Usnusia」つまり烏瑟膩沙最勝尊の烏瑟で、この

木像を供養すれば長寿・安楽・無量力が得られると信じられている三十二相の一つを指しており、廁神の烏菟沙摩明王とは全く異なった佛さまであって、烏瑟は明らかに烏菟の誤りである(中村元著「仏教語大辞典」東京書籍1981参照)。

《廁神は目が見えない?》

なお、廁神は目が見えないと、インドから朝鮮そして日本にまで広く信じられている。

福島県会津地方

便所に唾をはくと、目が見えなくなる。

和歌山県北部

廁神は目が見えないので、便所に入るときは咳をしてから入れ。

《廁神の祀り方》

日本では廁を新設する際に、甕の下に人形を埋めたり、便所の一角に棚を設けて、女の人形を祀るところもある。神棚だけあって御神体らしきものがない地方が多い。例えば…

宮城県仙台付近

廁の一角の棚に女の土人形を祭り閑所神という。

石川県金沢

廁を新設するとき、甕の下に夫婦の土人形を埋める。それも男女向かい合わせにして奉書紙で包み、紅白の水引をかけて、おはぎ二個と一所に埋める(千代芳子「便所の神様」なごみ475号1968)。

岐阜県飛騨地方

廁の隅の柱に祀って花を供え、毎月16日には燈明をあげる。

京都府京都市中京区

廁を除夜に掃除し、お灯明をあげて「星つきさん」という小さな丸

餅を松内の間供える。

広島県三津町

「雪隠さん」に正月はお祝餅を供える。

沖組県石垣島

廁神を荒神として尊崇し、病人の衰弱がはなはだしいときは、この廁神に線香・花・米・酒を供えて平癒を祈願する。

《廁の神は水の神》

日本の廁神に関する民間信仰は、かなり水の神やお産との関係を見無視できない。というのは、お産のときに産湯が大切なので、その水を川や井戸からまず手に入れねばならない。そこでお産に関して「川行き」とか「川おり」などという呼称が残っている。例えば…

島根県雲城村など

産婆の手伝いに行くことを「川行き」といい、反対に葬式へ出掛けることを「山行き」などという。

沖縄

名づけの日になると「川おり」といって、産児をねかした上に芭蕉布をかけ、海岸から捕ってきた小カニを数匹這わせる行事が最近まで行われた。

奄美大島

産後七日目に行うイダシバジメの行事に、乳児の頭上にカニ(蟹)をはわせたという。

この場合、カニは当然、水の神の使者という考えがあったのであろう。また、幼児にとって川や井戸そして便所などは、どちらも危険な場所であったから、こうした場所の水神に対して、幼児の安全を祈願したことも当然であった。

三重県

七夜に、井戸と便所にお参りし

たり、「七の橋を渡って、七軒の便所に詣る」などという地域があった。

以上のごとく、日本の廁神を考える場合、その前提として水の神の信仰がうかがわれるので、このことは古く日本のカワヤ自身が、文字通り川の上や川のほとりに設けられた幼児にとっては落ちたら危い川屋であったことを暗示している。

《廁神とお産》

廁神はすでに述べた通りお産との関係も深く、妊婦が便所をきれいにすると、美しい児が生まれるという俗信が、全国に広がっている。

関東から信越にかけては、生児の初の外出に当たって、まず近隣のトイレを拝んでまわる「せつちんまわり」とか「へや参り」の習俗がある。

中国

《中国全土に見られる廁神》

廁神の信仰は全国的にひろく行われている。廁神は地域によって紫姑神、廁姑、坑三姑娘、七姑娘、冬生娘仔などと呼ばれているが、華北地方の紫姑神が最もよく知られている。

いずれも、主として正月15日元宵節、女神をかたどった人形をつく



▲石川県金沢付近で用いる土製の廁神

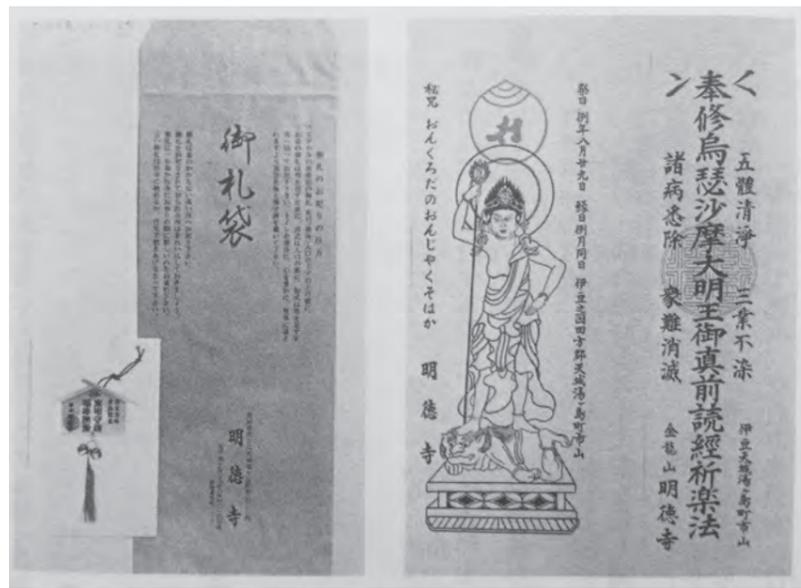
り、便所あるいは豚小屋などからこれを迎え、便所のそばでこれ祀ると、針仕事や良縁など、女性としての願いごとがかなえられるという。

また、紫姑神を迎えて、豊作や養蚕などを占う「紫姑占い」も盛ん行われている。

紫姑神の人形は、しゃもじ・ざる・ほうきなどで作るのが一般的である。しかし、福建省などの冬生娘仔は、大きさが手のひらぐらいの人形で、線香の棒を十文字に組合わせ、足は隻脚(编者注:片方の足を欠損した状態)とし、祭りがすむとこの人形を便器の中に投げ入れたり、あるいは焼き捨てる場合もある。



【出典】 トイレトペーパーの文化誌 (46頁～52頁)より転載
発行所: 論創社
著者: 西岡秀雄
発行: 1987年7月5日



▲伊豆半島湯ヶ島町の明徳寺で配布されている東司(便所)守護のお札とお札袋